

情報元：南海日日新聞社
日付：令和3年3月16日

エイサー演舞、舞台上で躍動

あしびの郷で卒業記念公演

沖永良部高校

感動したと話した。同部は2004年に発足。イベントや文化祭出演

卒業記念公演で演舞を披露する沖永良部高校エイサー部14日、知名町

など島内外で活躍している。公演は新型コロナウイルス感染症対策で座席数を縮小し、228席に限定した。

【沖永良部監局】沖永良部高校エイサー部の2020年度卒業記念公演が14日、知名町おきえらふ文化ホールあしびの郷・ちなでであった。卒業生11人と在校生14人が舞台上で躍動し、20曲以上の演舞を元氣いっばい披露した。

舞台は全学年による「ていんさくぬ花・かりゆしの夜」で開幕。部員たちは伝統エイサーメドレーや流行歌、懐メロに合わせ、多彩な演舞を披露した。来場者も手拍子や体でリズムをと

りながら楽しんだ。沖永良部島内のエイサー団体・舞勇Beatも賛助出演し、公演に花を添えた。

卒業生で元部長の昇美優さん（18）は公演後、「これまで支えてくれた人たちへ感謝の気持ちを込めて演舞した。最高の仲間たちと最高のステージに立てたうれしかった」と笑顔で語った。

卒業生の保護者、石黒俊久さん（53）は「娘が3年間一生懸命頑張っていたので、発表を見て

